

MSD Animal Health



MSD
Animal Health

MSDアニマルヘルス株式会社

〒102-8667 東京都千代田区
九段北一丁目13番12号 北の丸スクエア
電話：03-6272-1099 FAX：03-6238-9080

[お問合せ]

犬・猫・小動物：ex_msdaah_ca@merck.com
豚・牛：ex_msdaah_cs@merck.com
鶏・魚：ex_msdaah_pa@merck.com

MSDアニマルヘルスについて

私たちは、世界的なトップクラスのバイオ医薬品会社です。当社は世界で最も治療が困難な病気を対象にした医薬品やワクチンを開発しており、米国及びカナダでは「Merck Animal Health」という社名で活動しています。また、The Science of Healthier Animals™～サイエンスを動物たちのより良い健康のために～という企業理念のもと、様々なサービスを獣医師、酪農畜産業事業者、政府などに提供しています。私たちは動物の健康と幸せを守り、向上させることに全力を尽くし、研究開発資源や世界規模のサプライチェーンにも投資をしています。そして、世界50か国以上に拠点を持ち、約150のマーケットで販売されています。詳細については、ウェブサイト：www.msd-animal-health.jp をご覧ください。

免責条項

MERCK および MSD は Merck & Co., Inc., Kenilworth NJ, USA の子会社である Merck, Sharpe & Dohme Corp. の商標です。パンフレットに掲載されているブランド名は Intervet International B.V.、系列会社あるいはライセンサーのトレードマークであり、著作権法、商標法、及びその他の知的財産法によって保護されています。Copyright © 2017 Intervet International B.V. (Merck & Co., Inc., Kenilworth, NJ, USA 子会社) 無断複写・複製・転載を禁じます。本パンフレットには国際登録書類に基づいた動物用医薬品に関する情報が含まれており、お客様の国では発売されていない、または違う商品名で販売されている製品が記載されていることがあります。さらに、特定の製品についての承認内容、用法及び用量、安全性・有効性に関するデータは各国の規制および認可によって異なることがあります。詳細については、お客様の国で販売されている製品に貼付されているラベルをお読みいただくか、お客様の地域を担当している MSD Animal Health 代理店にお問い合わせください。
©2017 Intervet International B.V. (別名 MSD Animal Health) 無断複写・複製・転載を禁じます。

©2017 Intervet International B.V. (別名 MSD Animal Health) 無断複写・複製・転載を禁じます。





THEIR HEALTH AND WELL-BEING IS OURS TOO

動物の幸せは、私たちの幸せ

THE SCIENCE OF HEALTHIER ANIMALS™

科学で動物をより健康に

人間と動物は切っても切れない関係にあります。私たち人間にとっても、動物の健康や幸せは非常に重要です。私たちは、「動物のためにできる限りのことをしたい」と願う人々の力になるべく、日々解決策を探求しています。

私たちの行っていることは食の安全、そして人々の健康に欠かせないものであると、常に考えています。高品質なたんぱく質を提供することは、世界規模のライフスタイルの変化の中心になっています。それを支える畜産業者の皆様が確実に病気を予防し、効率的な生産が維持できるよう、ワクチンや医薬品などの開発に取り組んでいます。

特にワクチンは、口蹄疫のように感染力の強い病原体やサルモネラのような人獣共通感染症（動物から人間、あるいは人間から動物へ伝播する感染症）を蔓延させないために、

きわめて重要になります。この点、私たちは迅速かつ柔軟な取り組みにより、社会に深刻な脅威をもたらす病気を未然に防ぎ、安定した食料供給をサポートできるのです。

また、動物の健康と商業的な要素以外にも、私たちは大事な役割があると考えています。動物が健康でいることはもちろん、動物福祉も重要であると考え、よりストレスの少ない治療法を探し続けています。畜産業者のお客様の労力を減らすとともに、生産性を上げる手助けも、私たちにとって重要な活動のひとつであり、結果として酪農畜産業界全体に貢献できると考えています。

家畜だけでなく、ペットに対しても同様です。世界中で愛されるペットを危険な病気から守るために、ワクチンや治療薬、より簡便で効果的な寄生虫防除薬の開発も行っています。私たちは、ペットの健康で安心できる生活を守ることも重要な使命と考え、独自の方法で獣医師とともに健康に役立つ情報を収集することにも注力しています。

ひとつはっきりしていることは、企業や政府だけではこれらの課題に対応できないということです。だからこそ皆様の専門知識や深い洞察が必要であり、ご協力ををお願いしたいのです。

こうして私たちが科学的な進歩を続けていく一方で、それは実社会にどう影響しているのかーその答えは、食料の生産性向上や人々の健康維持、さらには国益に繋がる考えています。そのため、これからも皆様の要望にお応えする解決策を提供できるよう、努力を続けていきます。

私たちはこれからも先を見据え、さらなる動物の健康維持のために挑戦していきます。それらは、ガン予防や免疫療法、あるいは全く新しい革新的な方法になるかもしれません。私たちの経験、経営資源、バイオニア精神、それら全てを注ぎ込み挑戦し続けることが、全ての人々の発展に繋がると確信しています。

A PURPOSE DRIVEN PARTNERSHIP

目的を通じたパートナーシップ

私たちには常に、「単なる医薬品以上のもの」を皆様から求められています。それは動物の健康管理をより価値の高い、革新的なものにするテクノロジーやサービスです。私たちは創業初期から、その開発に注力してきました。

動物の健康管理における最善策のひとつは、適切な情報を共有することです。私たちは、今や世界的に有名な「MSD Veterinary Manual (MSD獣医学マニュアル)」を1955年から発行しており、知識と技術を提供し続けています。

また、私たちの製品や新たな技術を統合することは、お客様にとってより効率的で費用対効果の高いものとなり、加えて重要な事として、それら総合的な取り組みが私たちの経営方針に根付いていることです。

動物の病気が単独で発生することはほとんどありません。例えば、鶏の呼吸器障害の原因は、ワクチンプログラム、鶏舎の温度・湿度など多岐にわたります。疾病管理には、考え得る全ての要因に対処すべく細心の注意を払って組み上げたプログラムが必要なのです。

さらに、私たちは状況に応じた予防および疾

病管理サービスを提供しています。サービスの内容は動物の健康を守ることはもちろん、お客様の個別のニーズも満たすように設計されています。

MSD アニマルヘルスでは、製品毎ではなく、疾病のカテゴリー毎に獣医師・科学者・専門家がチームを組んで研究することで、病原性や伝播に何が影響するのかを追求しています。こうした複数の研究分野にまたがる異種混合チームで、動物の健康に関する解決策をいち早く開発します。



BRINGING
OUR KNOWLEDGE
TOGETHER
CAN MAKE ALL THE
DIFFERENCE

英知を結集して未来を変える

ORIGINS

MSDアニマルヘルスの歴史

MSD とシェリング・ プラウは 2009 年に経 営統合し、世界最大級の 製薬会社になりました。

統合した MSD、インターベット、
シェリング・プラウアニマルヘルス
は、いずれも 100 年以上の歴史を
持っています。そして動物と人間の
病気に対する画期的な製品を長年に
わたって提供し続けてきました。

インターベット

1949 年、インターベットのもととなるオランダの飼料メーカー WimHendrix は、科学者の協力のもと、世界初の鶏痘ワクチンを開発しました。それをはじめ、あらゆる動物に対する「史上初」のワクチンを数多く開発し、アニマルヘルス市場に導入してきました。

シェリング・ プラウアニマルヘルス

1930 年代、米国を拠点として活動していた MSD は、人のレンサ球菌感染症治療薬の探索においてスルファキノキサリンを発見し、鶏のコクシジウム症に高い治療効果を示すことを証明するとともに、これを製品化し、アニマルヘルス部門を立ち上げました。わずか 3 人で始まった営業部門は、2 年で 10 倍となり、アニマルヘルス市場におけるトップ部門に成長しました。



OUR STORY SO FAR!

沿革

私たちは長年にわたり人々と動物の暮らしを改善することに努めてきました。その経験は私たちの誇りであり、未来を築く上で大いに役立っています。3社の経験と英知を結集し、革新的な力をもって科学を発展させるよう努力していきます。



THE SCIENCE SHOULD NEVER STOP

「業界をリードする新発見」とい
う期待に応えるには、世界最高
水準の科学者と研究施設が必
要です。

私たちの医薬品やワクチンの研究所や製造所
は、世界中に広がっています。これにより、地域
毎に適した解決策の提案や、いかなる病気にも
対処することができるのです。

- 世界最高水準の創薬研究所および複数種に対する卓越したワクチンの研究開発拠点
- 進行中の薬剤研究開発プロジェクト（駆虫薬、抗感染症薬、内分泌薬、鎮痛薬）
- 繙続的な生物学的研究開発プロジェクト（人獣共通感染症、呼吸器疾病、腸疾患、新興疾患）
- グローバルに及ぶ製造ネットワーク

アニマルヘルスが世界規模で取り組む課題は、大規模かつ複雑困難であり、いかなる企業も単独で解決することはできません。そのため、私たちの研究開発部門の専門的知見を最大限に活用しながら、バイオテクノロジーを専門とする企業や大学、研究機関と提携しています。中でも、当社のヒューマンヘルス分野と緊密に連携し、科学的基盤を強化しています。最も効果的な治療法の多くが、ヒューマンヘルス分野での研究に端を発しています。



A HEALTHY FOOD CHAIN STARTS HERE

世界の人口は2050年までに20億人増加し、総人口は90億人を超えると予測されています。その全員に食物が行き渡るようになるには、家畜の生産をさらに持続的かつ効率的にする必要があります。

安全・安心な食糧供給は、私たち全員の責務です。畜産業界がさらに発展し、将来の需要に応えられるよう、私たちは、リーディングカンパニーとして、先導的な役割を担いそれを実行します。

「STARTS HERE」戦略の柱は以下の3本です。

- ・動物の健康を保ち、治療を最小限にするための予防啓発
- ・アニマルヘルス分野における、たゆまぬ進歩を遂げるための革新的なサイエンス
- ・家畜の飼育環境改善の推進

私たちの製品は、飼育環境の質的レベルを保持しながら、家畜の健康と生産性が維持できるよう貢献します。

ワクチン、治療薬、パフォーマンステクノロジーに集中し、畜産動物が、より健康で、本来持つ価値を継続的に提供出来るようにします。

また、私たちは、世界規模でビジネスを開拓しているため、国境を越えるような大規模な感染症の発生に備え、各の政府と連携し、政府に代わって拡散防止を遂行することができます。口蹄疫の抗原バンクを管理するなどがその一例です。



安心・安全な
食糧の供給と流通は、
ここから始まる



HEALTHY CATTLE PRODUCE THE BEST PROTEIN

健康な牛がもたらす
極上のたんぱく質

RUMINANTS

牛

畜産動物の健康が、世界中の畜産業界を左右します。

天然資源の減少や、気候変動も生じている今の時代こそ、効率的な飼育と疾病管理が必要になります。例えば、安全な食肉やミルクを供給するためには、病原性の強い感染症への対策が必要になります。

私たちは、獣医師、生産者、監督機関、科学者と連携することによって、世界中の様々な地域でハードヘルスプログラム（群単位での健康管理）を実現させてきました。中でも牛ウイルス性下痢症（BVD）や牛伝染性鼻気管炎（IBR）といった群内感染のコントロールに関して、私たちは最先端の製品を有しています。

さらに牛呼吸器病ワクチンや生まれたばかりの子牛の下痢に対するワクチンを使用すれば、若齢で最も発症しやすい病気をコントロールすることができます。私たちの製品と管理プログラムは、子牛のうちから動物を守り、その農場の未来を守ります。

加えて、農場の生産性を最大化させるためには寄生虫の予防も忘れてはなりません。私たちはあらゆる種類の蠕虫、ダニ、シラミ、ハエ用の寄生虫防除製品およびコクシジウム治療・予防薬を取り揃えています。また耐性化についても駆虫試験（FECR 試験）を通じて絶えずモニターしており、お客様にはそれぞれのニーズにあった適切な駆虫プログラムを継続してご使用いただけます。

繁殖障害も牛の飼育効率に影響を与える大きな要因です。獣医師や畜産業者の皆様向けに、繁殖成績を向上させる幅広いプログラム、トレーニング、サービスを提供しています。

このように私たちは、お客様が動物を健康に飼育するお手伝いをしています。



SWINE

豚

世界の食肉需要に応えるべく、今まで以上に集約した大規模な養豚経営が求められています。

寄生生物や野生動物の生息域の変動といった生態系の変化が、人獣共通感染症の伝播に関与しており、飼育頭数が増加する養豚農家においては、より慎重な疾病予防が必要になります。そこで私たちは、主要な豚インフルエンザウイルス株に有効な 5 倍不活化ワクチンを世界で初めて開発しました。

さらに、豚サーコウイルス 2 型(PCV2)、豚胸膜肺炎(APP)、豚マイコプラズマ性肺炎といった重要疾患に対するワクチンも開発しました。また、注射針を使用せず、特定のワクチンを皮内投与する「針なし連続注射器 IDAL」も提供しています。この「針なし連続注射器 IDAL」によって、より簡単で効率的なワクチン投与により手間を省くと同時に、投与時の動物の苦痛を最小限に押さえられるため、動物福祉にも配慮した製品になっています。

今日、豚の呼吸器疾患は世界中の生産現場で問題となっています。多数の病原体と飼養管理上の要因が相互に作用して発症し、分析や制

御が難しい複合疾患有する可能性があるためです。私たちはこの呼吸器疾病的分野において、ワクチン、医薬品、診断ツールや機器、そしてテクニカルサポートを組み合わせることで、世界中のお客様一人一人に合った解決策を提供しています。また、母豚の回転率を高め、農場の生産性を高めるような製品を取り揃えており、繁殖分野においても、リーディングカンパニーとして世界の食料生産の維持に貢献しています。



IT'S A PLEASURE
TO WATCH THEM GROW
AND A PRIVILEGE TO
HELP THEM ALONG

この子たちの成長を喜び
そして見守る
それが私たちの誇り

POULTRY

鶏

養鶏業界は、徹底した食品の安全性追及など、消費者の要求に応えることで成功を収めてきました。

例えば、主な食中毒の原因菌で、人に重篤な細菌性胃腸炎を引き起こすサルモネラ菌。この病原菌に対して、私たちはワクチンと迅速で有効な治療法、養鶏場モニタリングプログラムを組み合わせたサービスを提供しています。これにより、食品の安全に対して重大な危険因子を、お客様自身が確認できるようになります。

良好な腸内環境なくして、鶏は十分に育つことができません。適切な飼料の給餌と同様に、コ

クシジウム症やクロストリジウム症といった病気を予防することも大切です。私たちは養鶏農家の皆様へこれらに対する対策法を提供しています。

また、世界的にも問題になっている鶏伝染性気管支炎(IB)ウイルスに対して、幅広い株に高い有効性を示す生ワクチンや不活化ワクチンのように、多数のワクチンを提供することで、私たちは呼吸器疾病的分野をリードしています。また、ワクチンプログラムをその地域の特性、疫学的状況、肉養鶏・採卵鶏といった養鶏業態に応じて作成しています。

免疫疾病分野においても、ガンボロ病の起因となる伝染性ファブリキウス囊病(IBD)ウイルスに対するワクチンも提供しています。

また、採卵鶏農場において最も経済損失の大きい病気のひとつに、外部寄生虫のワクモが挙げられます。ワクモはサルモネラ菌などの人獣共通感染症を媒介する危険性があります。そういう危機から鶏と人々の両方を守るために、世界で初めて養鶏場向けの治療法を開発しました。

研究で培ったノウハウは、私たちのウェブサイトにて薬理学、公衆衛生学、栄養学における最新情報として公開しており、世界中の養鶏農家、獣医師、栄養士、科学者の皆様がご利用いただけます。



BIRDS ARE
A LOT SMARTER
THAN PEOPLE THINK.
THEY KNOW WHEN
THEY ARE BEING
LOOKED AFTER AND
I BELIEVE THEY
APPRECIATE IT

私たちの思いは届く
とても賢い動物だから

AQUACULTURE

水産養殖

食料としての魚の需要は年々増加しています。

その需要を満たすため、天然の水産資源を枯渇させないためにも、養殖魚の重要性は日々高まっています。現在、養殖魚の供給量は、世界で消費されている魚の半分にまで達しています。私たちは養殖業界の皆様に対し、将来にわたり事業が継続できるよう、環境保護にも配慮しつつサポートを行っています。

病気の予防や治療は養殖業界においても、安定した収穫量を維持するために必要不可欠です。私たちはノルウェーとシンガポールの研究所を拠点に、養殖業界の発展に寄与できるよう、より安全でより有効なワクチンや医薬品の開発を行っています。ノルウェーにおいては、サーモンやトラウト等冷水域の魚種についての研究を、シンガポールではブリ、カンパチ、ティラピア等温水域の魚種についての研究開発を行っています。そして、世界で初めてのサーモン7種混合ワクチン、ティラピアのレンサ球

菌症に対するオイルアジュバントワクチンの開発に成功しました。また2008年には、日本初となる水産用オイルアジュバントワクチンの製造販売承認を取得しました。



IT'S GOOD TO
KNOW THERE ARE
PEOPLE HELPING US
TO KEEP THEM HEALTHY
SO WE ARE CONFIDENT
ABOUT THE JOB
WE'RE DOING

私たちにはひとりじゃない
だからこれからも続けていける



GLOBAL PERSPECTIVE, LOCAL PROBLEM SOLVING

世界規模で考え、それぞれの地域で解決する

私たちMSDアニマルヘルスのネットワークは、150カ国以上に及びます。

これほどまでに成長できたのは、各地域に対する理解と多様性を重視してきたからです。

その甲斐もあり、今では病気の抑制や社会動向の変化に迅速に対応することができるようになりました。

マレック病(MD)、ニューカッスル病(ND)、伝染性喉頭気管炎(ILT)に対する私たちの革新的なワクチンが、健康な卵や鶏肉の生産に与える被害を軽減し、北米と中南米の養鶏市場に貢献しています。

豚では、オーエスキーニー病に対するヨーロッパで最初のマーカーワクチンを開発しました。このワクチンは1991年から7億頭以上に投与され、子豚のへい死と虚弱化、成豚の肥育と繁殖への悪影響も防ぐことができます。

オーストラリアの牛における最も経済損失の大きい病気であり、強い不快感と共に、適切に治療しなければ失明に至るピンクアイに対し、私たちは3価ワクチンを開発しました。

乳用牛、肉用牛の両方において、免疫抑制により呼吸器疾病を引き起こし、生産性だけでなく、動物の健康も快適な生活も脅かす牛ウイルス性下痢症(BVD)に対する私たちのワクチンは、ヨーロッパで最も重要なワクチンのひとつとされています。

韓国での口蹄疫の流行を抑制し、健康である



ABSOLUTE
COMMITMENT
TO REGIONAL
UNDERSTANDING

あなたの声に全力で応えること

OUR COMPANIONS

ペット

世界中で、かつてないほど多くの人々がペットとの幸せな暮らしを楽しんでいます。私たちは皆様の愛するペットの健康と幸せを守るお手伝いができるこことを誇りに思います。

私たちは飼い主様の不安を減らし、ペットと少しでも長く共に過ごせるよう、予防的ケアを重視しています。豊富な専門知識で獣医師の先生方をサポートし、ペットの健康を守るだけでなく、様々なペットや多忙な飼い主様のニーズにこたえるべく、より簡便で画期的な製品を開発しています。

例えば、ペットを蝕む寄生虫は、飼い主様自身にも危険を及ぼす可能性があり、必ず駆除しなければなりません。しかし、寄生虫駆除は継続的に行わなければならないため、簡単、安全、便利な方法であることが重要です。私たちは、犬や猫のノミ・マダニに対し、高い安全性と効果が長続きする最先端の駆虫薬を提供しています。

また、私たちのワクチンは業界屈指の予防の礎として、ペットの健康を守っています。例えば、犬用のワクチンは、犬パルボウイルス感染症、ジステンパー、犬伝染性肝炎など昔からある病気だけでなく、犬レプトスピラ病、呼吸器感染症などの新しい病気に対するものもあります。

かつて米国で発生した犬インフルエンザに私たちが対応できたのは、犬の呼吸器疾病の研究に長い歴史があったからです。今も、新しい病原体が出現するたびにワクチンを開発し、ペットの健康を守り続けています。

ペットの寿命が延びるにつれ、様々な要望が生まれてきました。その要望に応えるべく、私たちは、犬の外耳炎といった局所的な病気やドライアイに対する医薬品も提供しています。特にドライアイは非常に危険で、放置することで失明する恐れのある病気です。



I LOVE
HELPING ANIMALS
AND BEING ABLE TO
MAKE A DIFFERENCE
TO PEOPLE IS
GOOD TOO

動物と人々の
更なる幸せのために



PIPELINES

Connecting animals and people for a smarter future
よりスマートな未来のために
人と動物をつなぎます

私たちは The Science of Healthier Animals™～サイエンスを動物たちのより良い健康のために～への取り組みを通じて、獣医師、生産者、ペットの飼い主、政府に対し、幅広い動物用医薬品やワクチンのみならず、個体識別やモニタリング、トレーサビリティを可能にするデジタルソリューションを提供します。私たちの目標は、世界をリードするアニマルインフォメーション企業として、よりスマートな未来のために動物と人をつなぐことです。



発情・健康状態モニタリング

使用するデバイス一例



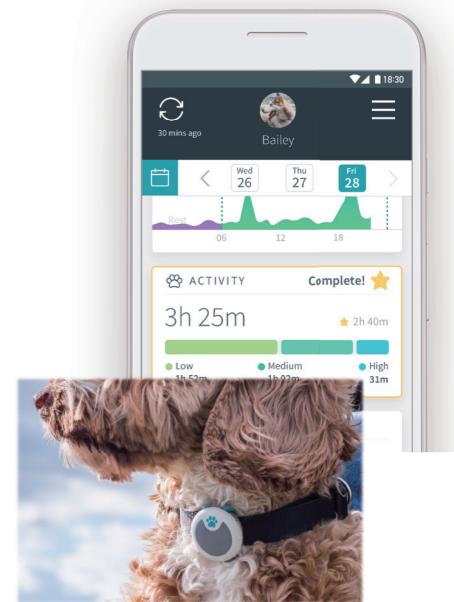
Allflex
Livestock Intelligence

私たちは、動物識別技術における世界最大級のプロバイダーとして、毎年 5 億個以上の動物を識別、追跡、モニタリングするためのタグをお客様に提供し、毎日 550 万頭以上の牛を観察することで、日々増え続けるお客様のニーズに対応しています。これによりリアルタイムで農場のデータにアクセスし、牛の飼養管理を改善することができます。



SURE
PET CARE

Sure Petcare は、テクノロジーがペットと飼い主の生活を向上させられるという信念に基づいて生まれました。飼い主が直面する実際の問題を、積極的に解決するソリューション製品を生み出しています。2017 年、世界初のアプリ接続型の猫フラップが発売され、新しいレベルでのデータ管理システムを通じて、飼い主の皆様にはよりペットに対する理解を、ペットには健康と福祉をケアする機会を提供してきました。現在、Sure Petcare アプリシステムを通じて毎日 150,000 頭のペットの行動がモニタリングされています。また、時間や物理的距離に関係なく、ペットを理解し、ペットとのつながりを深めるのに役立つよう設計されています。



Biomark
®

Biomark は、河川内および水力施設の RFID タグ検出システムから、タグ導入および生タグ付けサービスまで、1990 年代から魚のタグ付けにおけるパイオニアとして業界をリードしてきました。現在までに 2 億 1 千万尾を超える魚の移動運動のデータを所有し、2005 年以来、21 か国で 450 の魚探知システムを展開しています。私たちは、最高の RFID タグ製品と幅広い生物学的およびデータサービスを提供することにより、魚と野生生物の識別研究における世界的なリーダーとなりつつあります。





製品紹介

COMPANION ANIMAL

ペット



プラベクト®錠

プラベクト®錠は、1錠で、2つの寄生虫(ノミ・マダニ)に、効果が3か月続く、ノミ・マダニ駆除薬です。

プラベクト®プラス猫用

プラベクト®プラス猫用は、1回の投与でノミ・マダニに対する効果が3か月続くプラベクト®スポット猫用に、モキシテクチンが配合された駆除薬です。回虫と鉤虫にも効果を発揮します。



ノビバック®犬猫用ワクチン

ノビバック®は、感染症から犬・猫を守る混合ワクチンの、リーディングブランドの一つです。

SWINE

豚



ポーシリス®PCV M Hyo

ポーシリス®PCV M Hyoは、豚サーコウイルス2型感染症と豚マイコプラズマ肺炎の対策を1回の注射で実現できる、簡単・安全・効果的なワクチンです。

豚サーコウイルス(2型・組換え型)感染症・マイコプラズマ・ハイオニューモ二工感染症混合(アジュバント・油性アジュバント加)不活化ワクチン



製品紹介



IDAL/ポーシリス®PCV IDAL

針なし連続注射器IDALは、針を使わずに豚にワクチンを投与できる画期的なデバイスです。IDALで投与できる専用のワクチンを用いることで、豚へのストレス軽減や注射針による病原体の伝播リスクを下げ、農場の生産性向上に貢献します。

豚サーコウイルス(2型・組換え型)
感染症(アジュバント・油性アジュバント加)不活化ワクチン

フロロコール®2%液

フロロコール®は、主に肥育ステージで生産性を落とす豚胸膜肺炎(APP)に対する効果的な治療薬です。飲水投与ができる、使いやすい剤型です。



製品紹介

CATTLE

牛



レスフロール®

ボビリス®S

発熱を伴う牛細菌性肺炎治療薬であるレスフロール®は、抗菌剤(フルオルフェニコール)と非ステロイド系抗炎症剤(NSAIDs)(フルニキシメグルミン)を主剤とする注射用配合剤です。

ベコクサン®

有効成分であるジクラズリルはコクシジウム原虫の無性生殖期シゾントおよび有性生殖期ガモントに変性を起こしオーシストの形成を阻害する抗コクシジウム剤で、牛コクシジウム症の治療および発症防止に有効な製品です。



製品紹介

POULTRY

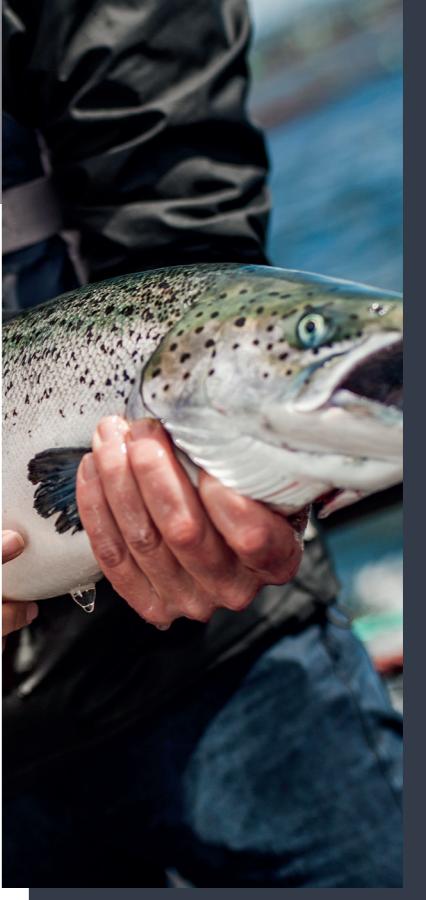
鶏



ノビリスIB® MA 5 ノビリスIB® 4-91

エグゾルト®

日本初の飲水投与によるワクモ駆除剤です。ワクモを駆除することで、鶏のストレスを軽減することから、EUのSPC(製品概要)ではアニマルウェルフェアの記載が許可されています。



製品紹介

AQUACULTURE

水産養殖



イスラン®ソーダ

スルフィソゾールを有効成分とする水産専用に開発されたサルファ剤です。あゆの冷水病、ぶりのノカルジア症及びこいのカラムナリス病の原因菌に対して強い抗菌力を示します。

One Health

全ての人々の未来のために

健康は一つ

動物の健康と安全を維持することは、人々の利益へと繋がります。だからこそ私たちは、One Health(健康はひとつ)という考え方を強く支持します。これは、人間と動物は互いに関係し合い、互いの健康に結びついているという考え方です。また、この考え方によって守られるのは利益だけではありません。病気が動物種の垣根を超えて蔓延する危険性を回避することもできるからです。動物が保有する病気を制御することで、動物の健康状態を改善するだけでなく、私たち人間の安全性、つまりは公衆衛生の点においても恩恵をもたらします。

卓越した獣医療への後援

次世代の獣医学専門家を育てることは、とても大切なことです。私たちが事業を継続する為にも、優秀な科学者と獣医師は必要不可欠です。私たちは、獣医学とアニマルサイエンス分野において学生の皆さんに教育を受ける機会を増やすプログラムを支援しています。具体的には、奨学金や教育支援のための助成金、特定の大学院への支援、世界規模での問題領域への資金提供などです。

狂犬病と戦う

現在、狂犬病は予防接種で予防できます。だからこそ、この恐ろしい病気を世界中から撲滅することができると信じています。この目標に向けて、私たちは Mission Rabies and Afya Serengeti(狂犬病とアフリカケニアセレンゲティミッション)の支援プログラムに、毎年大量の狂犬病ワクチンを提供しています。アフリカとアジアでのプロジェクトでは200万回分以上のワクチンを寄付しました。また、犬に噛まれないようにすることで、狂犬病による死者を著しく減らすことができるため、私たちは啓発活動も支援しています。

マラウイにミルクを

Shire Highlands Milk Producers Association(SHMPA)と提携して、私たちはマラウイの小規模な酪農業者に資金と現物支給の両面でサポートしています。資金、医薬品、機器を提供し、ミルクの質や生産量を向上できるように支援しています。

馬におうちを

近年、米国では引き取り手のない馬が増えています。国の基金がない為、私たちと American Association of Equine Practitioners (AAEP)は Unwanted Horse Veterinary Relief Campaign を始めました。この活動に何千回分ものワクチンを寄付し、できるだけ多くの馬が暮らしていくように支援しています。

実験動物を減らす

人々の命を救う医薬品の開発には、動物実験が必要です。それでも私たちは 3R (replace= 置き換える、reduce= 減らす、refine= 改良する) を約束します。具体的には、可能な限り動物を使用しない実験方法に変更したり、より洗練された統計モデルを使用することで実験に使う動物の数を減らすことです。それらの方法が難しい場合であっても、せめて動物が苦痛を感じないような実験方法へと改良していきます。



START A HEALTHY PARTNERSHIP TODAY

私たちとより良きパートナーシップを築きましょう

私たちの製品は、お客様と協力することによって生まれてきました。だからこそ、動物の健康維持に貢献することができるのであります。

私たちはお客様に寄り添いながら、それぞれの動物の健康に関する課題や、それが生活やビジネスにどのように影響するかと一緒に考えていきます。そしてその知識をもとに、世界的また地域的な病気と闘えるヘルスプラットフォームを構築しています。

そこから、動物の幸せとお客様の持続可能なビジネスに貢献できると考えています。このパートナーシップから私たちの製品は生まれ、業界に革新を与え、より良い世界に変えていく事ができると信じています。私たちと一緒に、始めませんか。

WHEN WE WORK
TOGETHER
WE CAN ACHIEVE
INCREDIBLE THINGS

素晴らしい世界を
一緒に実現しましょう